

平成17年度東京都重点事業では中学生の職場体験を推進し、「総合的な学習の時間」の取り組みの一環として職場体験の実施を予定（既に実施校あり）しております。これは、「将来の社会人」である中学生に、望ましい社会性・勤労観・職業観を育成し、自立や社会参加を促す教育を一層充実する必要性を考へ、そのためには、それぞれの職場（事業所）に分かれて実際の就労を体験し、生徒が地域社会でお世話になることにより、学校だけでは学習できない貴重なものを学び自分の生き方を考える機会になればと、最近多くの学校でこのような体験学習が増え

調布の子供を 市民みんなで育てよう！

～就労体験にご協力下さい～

ております。今年度は調布市公立中学校でも主に中学2年生が全員就労体験を予定していますが、多くの就労体験事業所のご協力を頂かないことには実施できません。働いた経験のない生徒を受け入れていただくことは、たびたびご迷惑をおかけすることと思われませんが、各中学校では就労体験先を50事業所から100事業所を希望しています。是非、主旨をご理解の上、体験先の開拓にご協力いただきたく、お願い申し上げます。ご協力いただける事業所は、商工会までご連絡下さい。

一店逸品運動

（商業資源再発掘事業） 冊子を発行しました

消費者への購買促進に結びつけ商業活性化に役立てようと、それぞれの事業所のいち押しの商品やサービスなどを集めた「一店逸品」冊子を発行しました。

能も持たせ、さらには参加事業所からは極力クーポンを付けて、より効果の高い冊子となるよう工夫しました。

掲載事業所数は、合計で113社となり、3万部を作成して、本年3月に配布すると同時に、ホームページによるPRを併せて実施しました。利用者のお手元に置いていただけるよう、市内公共機関の電話番号をまとめた暮らしの便利帳機



この名簿を活用して市内3箇所にて、街頭キャンペーンを開催しました。同時に「建設なんでも相談」コーナーを設けて、疑問・質問に答える体制を整えました。

市内のマンション・戸建住宅を中心に配布活動も実施し、市役所・郵便局等市内各所に置いていただいています。

更に、ホームページ版『住まいの便利帳』を立ち上げる等、地域密着型の受発注取引の開拓・浸透に積極的に取り

住まいの便利帳

2005年版
&
ホームページ版

～新築・リフォーム・増改築他～WEB版

完成



組んでいま
す。
従来の口
コミや紹介
を中心とし
た受け身の
受発注の姿
勢を打ち破
って、「頼
んで安心！
地元の業者
を合言葉に、地元・調布の優良建設
企業として消費者の皆様の信頼に応
えていきます。住宅に関するお困り
事やわからない事がございましたら、
是非この名簿をご利用下さい。無料
で差し上げています。



ホームページアドレス
<http://www.annie.ne.jp/~chofusc/>

人事往来



商工振興係長 富安光次
池谷 主税

4月1日付け事務局の人事異動がありましたのでお知らせいたします。

商工振興係長富安光次が、東京都商工会連合会総務課長補佐に栄転、同時に清瀬商工会より池谷主任経営指導員が転入いたしました。担当は経営支援係統括、工業・建設業部会、商工まつり等、支部担当は第2支部です。今後とも宜しくお願い申し上げます。

中心市街地活性化対策事業

経営者意識と大型店影響調査実施される。

調布市の補助事業として中心市街地活性化に対する事業者意識調査と昨年十月に出店した西友並びに、十二月に出店したイトーヨーカドーに関する大型店の影響調査を実施いたしました。

事業者意識調査は、中心市街地エリアの9商店会を対象に実施され、二百五名の会員から回答が寄せられ、また、大型店影響調査は9商店会に加え「西友」「イトーヨーカドー」の出店による影響が大きいと考えられる周辺部に位置する「染地

中央・多摩川住宅・菊野台・柴崎駅北口」の合計十三商店会を対象に実施され、二百六十九名の会員から回答が寄せられました。

意識調査のうち当面する個店の問題として売上の減少、客数の減少や客単価の下落、大型店の影響などが目立っており、また、商店街の問題点としては、空店舗の増加、京王線立体化の情報不足や対応、商店街業種構成の変化などが問題点として挙げられています。

今後への課題としては、

都市計画による街路整備や空店舗対策、駐車場の計画的配置や商店街ホームページの充実などに回答が多く、TMO構想については環境の変化に合わせ見直すべきとの回答が目立っています。

大型店の影響調査では国領ブロックや周辺商店会で影響が大きかったとする回答が多かったが布田ブロックや調布ブロックでは特に影響を受けたとは思わないとの回答に変わっています。本調査の詳細については報告会などでお知らせの予定です。